

こんにちは 森林官です!



網走南部森林管理署
清里森林事務所
首席森林官 和田 恭男

管内の「紹介」

清里森林事務所は、オホーツク管内の東南部に位置する清里町に所在し、川本森林事務所、青葉森林事務所との合同森林事務所となっております。合同森林事務所の管理面積は清里町内に約2万8千ヘクタールあり、当森林事務所はこの内、清里担当区と緑担当区の約1万2千ヘクタールを担当しています。清里町は、秀峰「斜里岳」の裾野に畑作地帯が広がる、自然豊かな田園風景を有する町で、ビート、じゃがいも、小麦が主要な作物です。また、風景林の「神の子池」・「男鹿の滝」など、清里から豊富な水に恵まれた観光資源も有しています。



秀峰「斜里岳」と「じゃがいも焼酎」の蒸留所

町には、じゃがいもを原料にした焼酎の醸造所があり、これも観光施設の一つとなっています。なお、緑担当区の国有林に建設された「緑ダム」からは、周辺市町村を含め、畑作地帯へ農業用水が供給されています。



農業用水を確保するために造られた「緑ダム」

森林官の業務

担当する仕事は、民有地との境界管理、森林の管理計画を樹立するための現況調査、伐採のための調査や伐採作業、造林作業の監督などがあり、エソシカやヒグマに係る簡易な調査なども行っています。

森林の管理計画を樹立するための現況調査に当たっては、事前に、調査箇所の下

調べを十分に行い、現地において造林木のほか、生育している木の本数や材積などの調査を行い、将来的な森林の取り扱いを踏まえた調査を心がけています。



次期森林管理計画のための「森林の現況調査」

伐採・造林作業については、近年、減少傾向にあり、少し寂しい感がありました。毎年の作業等を適切に実施したいと考えています。なお、植付を伴う伐採については、昨年度の実績や今年度の計画もあり、伐採のための調査も進んでおり、前述の作業が徐々に増えてくるものと考えております。

今後、伐採や造林の作業に当たり、コンテナ苗の導入、さらなる機械化や省力化等、低コストへの取組みを推進してゆくこととなります。

担当部内には防風林もあり、農地への倒木等、問題が発生することもあります。農家の方から、「防風林があつて良かった」との話をいただいたことがあり、改めて防風林の適切な取扱いに努めて行きたいと感じたところです。

終わりに

適切な森林の管理経営のもと、伐っては植える「公益的機能の持続的な発揮」が図られるよう推進するとともに、地元・地域から、「国有林があつて良かった」といわれるように取り組んでいきたいと思っております。



高性能林業機械による「伐採(玉切)作業」(請負事業にて)